

す く す く 通 信 第3号

「とちぎ de まんぷくキャンペーン」にご当選された皆様に、6月1日（土）に田植え体験をして頂きました、栃木県那須烏山市（JAなす南）の「田んぼ」の様子をご紹介します！【～田植え後96日目の様子です～】



田植えをしてから早いもので3か月が経過しました。前回のすくすく通信では出穂を迎え、花を咲かせていた稲ですが、1枚目の写真をご覧ください。いまではこんなに穂が垂れ下がって、なんとすてきな稲穂のトンネルができています！



穂が垂れてくるのは、お米がとれる部分がぐんぐん生長し、重みが出てきている証です♪ うま味がギュギュっと詰まったお米はこうしてできるのですね！ まだまだ穂に青みがありますが、これからどんどんきれいな黄金色に変化していきますよ！



みなさんは、栃木県は稲がすくすく育つ絶好の条件がそろっていることをご存じでしたか？栃木県は別名「雷都」と言われる程、日本でも有数の雷の多い県ですが、この雷を伴った夕立のおかげで気温が下がり、おいしいお米の条件である昼夜の寒暖差を生み出しているのです！実は遥か昔から、雷がお米を実らせているという信仰があったようで、そこから稲妻（稲の妻）という言葉ができたとされている程、稲と雷は密接な関係なのです★ ぜひ豆知識として覚えておいてくださいね♪

次回のすくすく通信では、収穫直前の稲の様子をお伝えします！ぜひお楽しみに♪